

2. 学校評価（学校自己評価・学校関係者評価）

評価基準（適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1）

（1）教育理念・目標

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
①学校の理念・目標・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）。	3	3
②学校における職業教育その他の教育指導等の特色は何か。	3	
③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3	
④理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者などに周知されているか。	3	
⑤各学年の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3	

①課題

	学校関係者評価
本校の教育理念は、「すべては礎の上に」であり、学習の基礎基本を大切に重んじている。それだけではなく、すべての言動は基礎基本が重要であり、挨拶、返事、礼儀などの指導に力を入れ生徒の育成に励んでいる。目標は、全員進級そして進路を決定して全員卒業である。これを実現するために全教職員協力し生徒を育成している。この理念、目標は、ホームページ、パンフレットに掲載している。将来の構想においては、現状の科、コースを維持しつつ新しい科、コースが必要である時機かと思われる。	3

②今後の改善策

	学校関係者評価
コロナの影響で令和2年、3年と実施できなかった「保護者進路説明会」は、今年度実施出来た。しかし、参加される保護者が少なく開催日時、内容の検討が必要である。まは、ホームページの見易さに取り組んだが、生徒保護者からあまり反応がなく、しっかりと伝える必要がある。	3

③特記事項

新しい学科、コースの設立に取り組む必要がある。

【この自己評価における学校関係者の意見・総評】

「保護者進路説明会」に多くの保護者に参加して頂くことはなかなか難しいことだと思うが、是非この課題に正面から取り組みよりよい「説明会」を開催されることを願う。また、一昨年度の課題にも上がっていた新しい学科、コースの設立にも取り組んで頂きたい。
--

(2) 学校運営

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
①目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	4
②運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3	
③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか。また有効に機能しているか。	4	
④人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4	
⑤教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4	
⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか。	3	
⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3	

①課題

学校での働き方改革が問題になっている昨今、本校でも働き方改革が必要である。一日の残業時間が長い。残業が毎日ある。有給休暇取得率が低い。一気に働き方改革に取り組み、混乱が生じると予想できるので、出来るところから一つ一つ取り組んで行き全教職員が心身ともに健康で働ける環境にする必要がある。

学校関係者評価

3

②今後の改善策

複数の学校に働き方改革に取り組んでいる内容を聞いて見た。会議の回数を減らす。会議の時間短縮。部活動の時間制限と短縮。月1回、週1回のノー残業デイ。有給休暇の取得率50%以上。春、夏、冬休みなどの休暇期間のテレワーク出勤などを教えてもらい、この中から一つでも実践して行く。

学校関係者評価

3

③特記事項

特になし

【この自己評価における学校関係者の意見・総評】

働き方改革を推進し、教職員の皆さんが心身ともに健康で働ける職場にして頂きたい。環境や制度を設けるだけでなく、教職員の意識改革を進めて行く必要がある。これが最も困難かも知れないが、是非実行することを願う。

(3) 教育活動

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3
②教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修年年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3	
③学校のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	
④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3	
⑤関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直しなどが行われているか。	3	
⑥関連分野における実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技／実習等）が体系的に位置づけられているか。	4	
⑦授業評価の実施、評価体制はあるか。	4	
⑧職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	2	
⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	
⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	
⑪人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3	
⑫関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなど資質向上のための取り組みが行われているか。	3	
⑬職員の能力開発のための研修などが行われているか。	2	

①課題

	学校関係者評価
教職員の能力開発のための独自の研修会は、コロナ社会になってから3年連続実施できなかった。教職員の能力開発、能力向上は、教科指導、生活指導に反映されより幅の広い深い領域を生徒に指導出来ると考える。外部の研修会にも積極的に参加し、教職員一人ひとりが新しい能力（教授法、指導法）を発見し習得することが必要である。	3

②今後の改善策

学校関係者評価

3年連続教職員の研修会は実施出来ていないので、教職員の能力開発、能力向上のためにも来年度は年度初めに計画を立て実施しようと考えている。高校の学習指導を実施しているが、生徒の大半は中学1年生レベルの学力で、基礎的な学力指導が必要になっている。全教職員が、基礎的な学力指導が出来るように能力開発、向上に努める必要がある。

3

③特記事項

特になし

【この自己評価における学校関係者の意見・総評】

来年度教職員の能力開発のための研修会は必要であるので、是非とも実施していただきたいと共に、学校で資格検定が取得出来るシステムがあるので、教職員も生徒と同じように資格検定を取得すればと良いと考える。

(4) 生徒指導等

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
①基本的生活習慣の確立のための取り組みが行われているか。	4	3
②生徒の安全管理のための取り組み等（災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある生徒等への支援など）が行われているか。	3	

①課題

	学校関係者評価
高校生活がスムーズにスタート出来るように、入学前の三者懇談、事前補習、仲間作りのオリエンテーション、入学後の家庭訪問と実施している。これらすべては、生徒が遅刻欠席なく登校できるように、また基本的生活習慣を確立し健康な生活を送ることが出来るように取り組んでいる行事である。多くの生徒は基本的生活習慣が確立し登校できているが、中学校からの昼夜逆転生活が改善されず、入学時から欠席が続く生徒が少数いる。	3

②今後の改善策

	学校関係者評価
入学時から登校出来ない生徒、基本的生活習慣が確立出来ない生徒については、保護者に協力を求め連絡を密にし、クラスの中でも最も早い時期の家庭訪問が望ましい。ひきごもり状態にならないように、学校の様子のプリントや授業ノート、資料などは郵送またはこまめな家庭訪問を実施する必要がある。	4

③特記事項

特になし

【この自己評価における学校関係者の意見・総評】

入学前の取り組みは、生徒にとって高校生活がスムーズにスタートできる活動なので大変有益であると思われる。引きこもり状態にならないよう粘り強い指導が必要であると思われる。

(5) 特別活動等

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
①クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか。	2	2
②保護者会等と連携した活動を推進しているか。	2	

①課題

	学校関係者評価
eスポーツのようなみんなでゲームし楽しく協力出来るクラブにはたくさん入部者がいる。その反対に、ここ数年の課題は運動部への入部者が少なく体を動かすのが嫌、筋肉トレーニング、ランニングがしんどいと感じる生徒が多い。運動して体力をつけることが健康な体をつくり病気の予防になることを説明しているのだが入部者が少ない現状である。	2

②今後の改善策

	学校関係者評価
以前のように生徒会新聞を通して運動部の魅力を伝え一人でも多くの生徒が入部するように勧める。また、新入生歓迎会でクラブ紹介があるので、その場でしっかりと伝える必要がある。体を動かし鍛えること、チームとして一つの目標に向かってみんなで努力する尊さを折に触れて伝える必要がある。	2

③特記事項

特になし

【この自己評価における学校関係者の意見・総評】

運動部と言えば、野球、サッカー、陸上という屋外のイメージが強くないか？同じ運動部でも屋内で活動している卓球、ソーラン隊などは、空調設備のある中での活動と思われるので、環境という点を強調して勧誘するのも一つの手段ではないかと思われる。
--

(6) 学修成果

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
①進学率や就職率の向上が図られているか。	4	3
②資格取得率の向上が図られているか。	3	
③退学率の低減が図られているか。	3	
④卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか。	3	
⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか。	2	

①課題

	学校関係者評価
本校の目標の一つに退学者を出さないがある。退学防止については、生徒指導、教科指導をはじめ全ての学校行事もそのためにある。1年生の退学者が多い。中学時代不登校そこから抜け出せない。日々の連絡、各授業の資料の郵送、登校指導、家庭訪問、懇談と機会あるごとに引きこもりの生徒に連絡を取り、気持ちを学校に向くように指導しているが、なかなか意識が変わらないのが現状である。	3

②今後の改善策

	学校関係者評価
引きこもり生徒には担任だけでなく、学年の先生も家庭訪問を実施している。家庭訪問で勉強を教えている先生もいる。もちろん保護者も協力して下さっている。生徒自身も学校に行かなければと思っている。なのに、朝になると登校できない。クリニックなどで登校拒否症と診断されるとそのまま完全不登校となり、進級不可退学へと繋がって行く。改善策の模索中である。	3

③特記事項

特になし

【この自己評価における学校関係者の意見・総評】

全国で小中高の不登校生徒は、2～3%と言われている。貴校では10%強ぐらい。生徒が持っている悩みや課題はそれぞれ違うと思うので、地道に時間を掛けて関わって行くしかないと思う。貴校の取り組みは、十分生徒や保護者に届いていると思う。
--

(7) 生徒支援

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
①生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3
②生徒の健康管理を担う組織体制はあるか。	4	
③課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3	
④生徒の生活環境に対する支援が行われているか。	3	
⑤保護者と適切に連携しているか。	4	
⑥卒業生に対する支援体制はあるか。	4	
⑦社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	2	
⑧専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか。	2	

①課題

	学校関係者評価
生徒の欠席連絡は、必ず保護者から入れて頂くようお願いしている。ごく少数連絡が入らない場合がありそんな場合は、学校から家庭に電話を入れ保護者との連携を密にしている。また、生徒が学校で配布したプリントを保護者に見せない場合があったり、保護者が行事等を確認するために配布している全てのプリントはホームページに掲載している。生徒の中には保護者にプリントを見せない者がいるこれが問題である。	3

②今後の改善策

	学校関係者評価
朝、欠席連絡入らない。担任が保護者に連絡を入れても繋がらない。ようやく連絡付くのが昼になるというケースがある。保護者とのメール、ラインを用いての連絡手段もあると聞くのだが、本校ではメール、ラインを実践しておらず電話対応だけである。メール、ラインの活字だけでは、声から伝わってくる保護者の様子やすぐに保護者の相談に乗ることも出来ない。だから電話対応を継続して行こうと考えている。	3

③特記事項

特になし

【この自己評価における学校関係者の意見・総評】

学校から保護者に一斉メールが出来るようにすれば良いと思う。多くの学校が導入されているので、是非取り入れればと思う。保護者への連絡は、現在されている電話連絡を密にすることによって信頼関係が構築されるので今まで通りで良いと思う。
--

(8) 教育環境

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	2	2
②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修などについて十分な教育体制を整備しているか。	2	
③防災に対する体制は整備されているか。	3	

①課題	学校関係者評価
毎年9月に「大阪880万人訓練」があり、本校はこの訓練に参加している。2月にも独自のJアラート訓練を実施した。生徒たちは真剣に取り組んでいた。どちらも放送によるもので避難所となっている公園まで歩いて行くことは出来ていない。来年度は、実際避難所となっている公園まで歩く訓練を考えている。	3

②今後の改善策	学校関係者評価
地震・津波による「大阪880万人訓練」は、生徒たちも中学時代から経験しており説明をしてもすぐ理解を示し行動に移った。Jアラート訓練では、ガラスから離れ机の下に身を隠すの窓ガラスから離れがスムーズに行かなかった。また、屋外での体育授業では、身を隠すのに時間が掛かり数回訓練が必要であると思われた。	3

③特記事項
特になし

【この自己評価における学校関係者の意見・総評】

生徒の命を守ることは大変重要なことであり、責務である。避難訓練は、毎学期に1回実施されるのが良いかと思われる。訓練を重ねることでいざという災害の時に役に立ちパニックにならずスムーズに避難できると思う。
--

(9) 生徒の受け入れ体制

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
①生徒募集活動は適切に行われているか。	3	3
②生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	
③学納金は妥当なものとなっているか。	4	

①課題

	学校関係者評価
<p>渉外担当の教職員は、学期ごとに生徒の出身中学校を訪問し成績をはじめ近況報告をしている。中学時代不登校であった生徒が、今では遅刻欠席なく皆勤で登校しているという報告をするとその中学校から翌年新入生が入学してくるケースが多い。その反対に1年次で退学した出身中学校では、生徒募集にマイナスの影響がある。</p>	3

②今後の改善策

	学校関係者評価
<p>1年次で退学者を出すと生徒募集に悪い影響を及ぼすことは明らかで、いかに退学者を出さないかが課題である。新1年生及び保護者といかに早く信頼関係を構築するかが問題である。入学前の三者懇談で、生徒の不安、悩みを聞き保護者の要望を受け止め、3年間生徒を成長させるために互いに協力するという懇談にしなければならない。</p>	3

③特記事項

特になし

【この自己評価における学校関係者の意見・総評】

<p>入学前の三者懇談で保護者は学校の方針などを理解し安心して子どもを任せられるという懇談にしなければならないと思う。懇談の内容（マニュアル）を常に検討し学校を信頼してもらえるようなものとする必要がある。</p>
--

(10) 財務

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3	3
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3	
③財務について会計監査が適正に行われているか。	3	
④財務情報公開の体制整備はできているか。	4	

①課題

	学校関係者評価
財務情報・報告は、PTA役員会、総会で報告され、PTAだよりを用いて全保護者に伝えている。会計監査については、総会后会計役員と監査役員が書類を確認している。財務情報公開は、ホームページを通して実施している。入学生が横ばいの状態で財務は厳しい状況にあるので、節約できるところは節約することが課題である。特に夏のエアコンの電気代が課題である。	3

②今後の改善策

	学校関係者評価
財務は厳しい状況になっているので、無駄を省き、節約できるところは節約していくという取り組みが必要である。日頃からエアコンのつけっぱなしをなくし、節約する。紙も同様、節約を志し印刷、コピーのミスをなくす。文房具もすぐ新しい物を購入するのではなく、ある物を最後まで使用するという意識を持つことが必要である。	3

③特記事項

特になし

【この自己評価における学校関係者の意見・総評】

日頃の小さな節約が、大きな節約に繋がるので是非実行して頂きたい。常に先頭に立って節約を呼びかける教職員が必要であり、他の教職員はその方に協力するという体系が大切だと思われる。

(11) 法令との遵守

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3	3
②個人情報に関し、その保護のための方策がなされているか。	3	
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	3	
④自己評価結果を公開しているか。	4	

①課題	学校関係者評価
法令遵守を徹底し、違反のないように心掛け運営している。生徒の個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払い漏洩のないように保護に努めている。しかし、教職員の机上及び足元にはプリントだらけで整理整頓がされておらず、個人情報の漏洩の危険性がある。これが問題である。	3

②今後の改善策	学校関係者評価
個人情報の取り扱いについては、今まで以上に管理徹底を全教職員に促す必要がある。まず教職員一人ひとりの机上及び机周辺の整理整頓をする。毎日整理整頓を訴えきちんとすることが個人情報保護に繋がるので、そのような意識を持ってもらうように働きかけることが必要である。	3

③特記事項
特になし

【この自己評価における学校関係者の意見・総評】

個人情報の漏洩の危険性があるならすぐに整理整頓を実行すべきだと思う。また法令遵守の研修を行い教職員の仕事には、守るべき法及び事柄が多くあり仕事への責任感が再認識できると思われる。

(12) 社会貢献・地域貢献

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	2	3
②生徒のボランティア活動を奨励、支援してるか。	4	
③地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託などを積極的に実施しているか。	2	

①課題

	学校関係者評価
過去に夏休み期間に地域の方や中学校教職員対象にパソコン教室を開講したことがある。3年ほど継続したが、クラブ活動時間の縮小、進路活動への支障、また教職員の負担が大きいことから閉講しました。開かれる学校という意味からいろいろな教室を開講する時機に来ているのではないかと考える。	3

②今後の改善策

	学校関係者評価
再度、夏休み期間に地域の方や中学校教職員対象にパソコン教室をはじめいろいろな教室を開講するには、前回問題となった教職員の業務負担をなるべく少ないように役割を細分化する必要がある。地域に根差し地域に貢献する学校にするためにも実施に向けて企画運営する必要がある。	3

③特記事項

特になし

【この自己評価における学校関係者の意見・総評】

学校の開放については、区役所内にある「街づくり課」等と連携をとり宣伝などに協力してもらおうように考えてみるのもいいと思う。この地域で私学として約40年活動しているのであれば是非学校開放すればと思う。
